

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成29年10月作成

指針1：家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進

1 絵本の充実と整備

施策・方針	ア 絵本購入費の確保に努め、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本を充実し、子どもたちが魅力ある本を手にとって見ることができ環境の整備を行います。 イ 子どもと本の出会いをより充実させるために、保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問や移動図書館の活用を推進します。
-------	---

平成28年度 実績・課題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所4施設・公立幼稚園2施設では図書購入費の増額を行い、各施設図書の充実に努めました。また、幼児教育推進体制構築事業の取組として、各園50冊の絵本を選定し、学びの芽を育む環境整備に取り組みました。 ・私立保育園等11施設を含め17施設の絵本の購入実績は、0～10冊が6施設、11～20冊が6施設、31～40冊が1施設、41冊以上が5施設でした。また、平成28年度も、企業から保育所〔園〕15施設に約30冊ずつのご寄附をいただき、環境整備に寄与いただきました。 ・各部屋の絵本コーナーには、年齢に応じた絵本を用意し、表紙が見えるよう並べるほか、子どもが調べることができるような鑑蔵コーナーを作るなど、絵本への関心を高めるための環境づくりに取り組みました。乳児クラスでは、保育士が1対1で絵本を読む時間を設けるよう意識して取り組んでいる施設もあります。また、親子読書推進のため、降所時間に合わせて親子に絵本の読み聞かせを行っている施設もあります。 ・図書館訪問を行った保育所〔園〕・幼稚園は、17施設のうち9施設で、そのうちマイクロバスを利用し図書館訪問を行った施設が1施設ありました。また、移動図書館を利用した施設は7施設でした。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子読書を推進するため、参観や行事の機会に絵本の読み書かせを行ったり、「園だより」で絵本の紹介を行うなど、積極的に働きかけていく必要があります。
-----------------	---

平成29年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所・幼稚園の図書購入費として、各施設図書約10冊分の購入財源の確保を行い、身近に絵本に触れ合える環境整備を進めています。 ・絵本との出会いを意識し、保育所〔園〕・幼稚園の行事に関連した絵本を保育室に揃え、興味関心が持てるような取組を実施しています。 ・市のマイクロバス利用した図書館訪問を計画している保育所があります。
----------------	--

平成30年度 重点取組事業（案）	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き公立保育所・幼稚園の図書購入費の確保を行い、身近に絵本に触れ合える環境整備を進めます。 ・絵本との出会いを大切にし、絵本を題材にした出し物を行事で取り入れます。 ・図書館利用の推進を図り、団体貸し出しを効果的に活用するよう働きかけます。
---------------------	---

2 読書活動推進のための取組

施策・方針	ア 保育士・幼稚園教諭対象に、子どもの年齢・成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法等を学ぶ研修の機会をもちます。 イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続させるとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催するなど、家庭、保育所〔園〕・幼稚園への積極的支援を行います。 ウ 市立図書館と連携し、読み聞かせ等のボランティアの活用を図るとともに、各保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受入を進めます。
-------	--

<p>実績・課題 平成28年度</p>	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内や市内で開催される絵本に関する研修会や講演会等へ積極的に参加を呼びかけ、昨年度より約40人ほど多い延べ122人の職員が参加しました。 ・職員向けの研修を実施した施設は17施設のうち7施設、保護者向けの研修を実施した施設は2施設でした。 ・平成28年度も昨年度同様、こども支援センターかがやきとマイ保育ステーションにおいて在宅家庭の親子に絵本の読み聞かせを行いました。 ・ブックススタート事業への参加親子数は、525家庭中330家庭でした。 ・親子読書の推進を図るために、園だよりやクラス懇談会の機会を利用し、絵本の紹介を行った施設は17施設中12施設でした。 ・在宅家庭への絵本の読み聞かせを実施する施設が2施設増えて15施設になりました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる絵本推進の取組を実施している施設は4施設ですが、ボランティアの有効的な活用について課題を整理していく必要があります。
<p>実施状況 平成29年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で子育て支援に関わる子育て支援員に絵本に関連した研修を1回実施しました。 ・各園に「こども読書週間」に関連した取組を行うよう働きかけました。 ・人権保育研修で絵本に関する研修会があり、各施設から参加をし保育の質の向上に努めています。
<p>重点取組事業(案) 平成30年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域で子育て支援に関わる子育て支援員に、絵本に関連した研修を年1回以上実施し、親子読書の推進を図ります。 ・各施設で「子ども読書の日」に関連した取組を行い、親子読書の推進を積極的に進めます。 ・ボランティアの活用の仕方を見直し、有効的な活用を行います。

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

平成29年10月作成

指針2：小・中学校における読書活動の推進

1 学校図書館の資料の充実

施策・方針	ア 国の平成24年(2012年)度からの「学校図書館図書整備5か年計画」に基づき、「学校図書館図書標準」達成率100%の学校の割合を、まずは、三重県平均レベルの小学校39.7%、中学校24.4%とすることを目指し、「更新冊数」も含めた資料の充実のため、図書購入費等の財源を確保していくよう努めます。
実績・課題 平成28年度	実績 ・「学校図書館教育充実事業」を行い、資料を充実させ、学校図書館を「読書センター」「学習センター」「情報センター」として機能させる等、読書活動の推進と学校図書館の充実へ向けて取り組みました。(モデル校：桔梗が丘南・百合が丘小学校、赤目・北中学校) ・市立図書館と連携し、団体貸出しの利用を促進しました。(小学校13校：1,951冊) 課題 ・平成28年5月現在、学校図書館図書標準の達成率の一番低い学校は43.7%、平均は63.1%、一番高い学校は102.3%でした。達成率については伸び悩んでいます。
平成29年度 実施状況	・学校図書館図書標準達成率の向上のために、財団・民間の助成制度等の調査・活用に努めています。 ・分類ごとの蔵書比率に鑑み、適切な購入を進めています。 ・「学校図書館教育充実事業」で、これまでの先進事例について広く周知を図るとともに、資料を充実させて魅力ある学校図書館となるようさらに環境整備を進め、授業等で活用できるように支援を充実しています。 ・授業等で多くの資料が必要な場合、学校間で貸出利用ができるシステムを作っています。 ・市立図書館と連携し、団体貸出しの利用を推進しています。

2 人的体制の整備

施策・方針	ア 学校図書館支援員を引き続き配置し、各学校の図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行います。 イ 子どもと本のつなぎ手となる学校図書館の専任職員としての「学校司書」の配置にむけての検討を積極的に行います。 ウ 「名張市教育センター」の機能を活用し、各学校の司書教諭等と連携しながら学校図書館の充実に向けた支援の体制づくりをすすめます。 エ 司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを目指し、研修の充実に努めます。
実績・課題 平成28年度	実績 ・学校司書3人が、モデル校を中心に市内19校の小中学校を巡回して、全ての学校において図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行いました。 ・学校司書が研修会に参加し、スキルアップを図りました。 ・6月と9月に、学校図書館ボランティア・学校司書・司書教諭等を対象にした合同研修会を2回開催し、6月の研修会には54人、9月の研修会には41人の参加がありました。 ・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年2回設け、活動の幅を広げることができました。 ・広報等により学校図書館ボランティアの登録が147人となり、昨年度より11人増員することができました。 課題 ・公立小中学校に週30時間の「学校司書」をおおむね2校に1校配置する国の方針を受け、名張市でも引き続き配置していく必要があります。
平成29年度 実施状況	・学校司書が、学校図書館教育充実事業モデル校3校を中心に各学校を巡回し、効率よく学校図書館活性化に向けた取組(子どもの読書量と図書館利用の増加、図書館を活用した授業の活性化等)を行っています。 ・学校図書館ボランティアの増員を図っています。 ・司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアのスキルアップのために研修会を年間2回以上は実施しました。 ・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年2回以上設けました。また、学校図書館ボランティアの手引きを活用し、活動の充実を図っています。 ・学校司書のさらなる配置に向けて努めています。

3 読書活動推進のための学校の取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校図書館のコンピュータ管理への支援、小・中学校図書館のネットワークの構築、新刊図書配置の支援、司書教諭等への支援等、学校図書館の活性化に努めます。</p> <p>イ 読書活動推進のため、保護者への啓発を学校にはたらきかけるとともに、PTAとも連携を取り、子どもの読書活動推進の大切さについて、「懇談会」「講演会」「親子読書会」など様々な機会が発信します。</p> <p>ウ ^{ウチドク} 家読の推進が図られるよう支援します。</p>
<p>実績・課題 平成28年度</p>	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育センターからは、4月23日の「子ども読書の日」と、読書週間に合わせた10月、学年末の年3回「としまだより」を発行しました。各校からは、新刊図書やビブリオバトルの活動の紹介等、工夫した図書だよりを発行しました。(小学校8校、中学校3校) ・学校図書館の役割(読書センター・学習センター・情報センター)に関する内容を明記した、各校の教育計画における学校図書教育計画を作成した学校は、平成27年度は2校でしたが、11校に増えました。(小学校9校、中学校2校) ・6月にPTA等にご後援いただき、読書活動推進のための研修会を実施しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における学校図書館の活用を図る必要があります。
<p>実施状況 平成29年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で学校図書館を活用した授業が計画的に行われるよう、学校図書館の役割を考慮した各学校の年間指導計画の充実を図っています。 ・委員会活動等をさらに活性化することで、児童生徒が学校図書館にさらに興味関心を深め、誰もが利用しやすい環境を作ることで、貸出密度の向上に努めています。(平成27年度貸出密度 小学校21.4冊 中学校0.8冊) ・書籍購入におけるリクエスト制度の確立に努めています。 ・読書活動推進に資するため、各校が魅力ある「としまだより」を発行できるよう、教育センターと連携し、資料・情報の収集に努めています。 ・教育センターとして、PTA等に後援いただき保護者の研修会参加への支援を求める等、読書活動推進のための研修会、講座等を年間1回以上は実施するよう計画を進めています。

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成29年10月作成

指針3：市立図書館における子どもの読書活動の推進

1 市立図書館の児童書の充実

施策・方針	<p>ア 市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値を25%程度とします。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園や学校図書館への団体貸出用児童書の収集に努めます。</p> <p>ウ 内容が古くなったり傷みが激しくなったりした児童書を廃棄して蔵書の更新に努めます。</p> <p>エ 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。</p> <p>オ 身体の不自由な子どもたちのための点字図書や録音図書などの充実や、外国人の子どもたちのための外国語の図書の充実に努めます。</p> <p>カ 以上のことを実現するための予算の確保に努めます。</p>
-------	---

実績 平成28年度 課題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立図書館の全蔵書冊数に対する児童書の割合は22.3%で、全蔵書冊数305,585冊のうち、児童書冊数は68,209冊となっています。また、資料購入費(日本図書館協会公共図書館調査票の区分)は、10,247,358円で、内訳は図書費:9,189,054円、雑誌新聞費:1,049,110円、視聴覚資料費:9,194円となりました。(平成29年3月末現在) <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立図書館の蔵書構成に留意しながら、児童書の充実を図る必要があります。
--------------------	---

平成29年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値に近付けることを念頭に置きながら、児童書の購入と更新に努めています。9月末現在の全体の受入冊数は2,955冊で、児童書の受入冊数は549冊となっています。 平成29年度の資料購入費予算額は、10,450,000円でした。
----------------	--

平成30年度 重点取組 事業	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館等への団体貸出に配慮した児童書の収集を行います。 長く読み継がれて傷みが激しくなった児童書を更新します。 上記の取組が可能な予算(平成29年度資料購入費予算額以上)を確保します。
----------------------	--

2 人的体制の整備

施策・方針	<p>ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書の確保により児童サービスに関する知識や技術の蓄積に努めます。</p> <p>イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を年2回以上実施するよう努めます。</p> <p>ウ 市立図書館のボランティアや学校図書館ボランティアの他、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの組織化やコーディネートを行う受入体制を整備し、市立図書館内外で活動できるよう支援に努めます。</p>
-------	---

平成28年度 実績・課題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、市立図書館では子どもの読書活動を推進していくため、児童サービス担当司書を配置し、読書相談等の事業を展開しています。また、児童サービスの技術向上のため、図書館ボランティア研修講座(「学校図書館の役割とその活動について」林千智さん、「笑って学ぶ子育てのコツ～絵本とおもちゃをとおして～」岩城敏之さん)を教育センターと協働して開催しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもと本のつなぎ手となる専門的な知識と技術を有する司書の確保と継続的な事業展開が必要です。
-----------------	---

平成29年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、おはなし会ボランティアへの情報提供を行っています。(情報提供件数:6件) ・教育センターと協働して、図書館ボランティア研修講座(『子どもたちと絵本の扉を開く』正置友子さん、『学校図書館におけるビブリオバトルの活用』岡野裕行さん)を実施しました。 ・児童サービス担当司書を中心にして、児童への図書館サービスの充実に努めています。
----------------	---

平成30年度 重点取組事業 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書を継続して配置します。 ・職員やボランティアの児童サービスへの技術力の向上につながる研修等を、教育センターと協働して実施します。
-------------------------	---

3 地域における子どもの読書活動推進のための取り組み

施策・方針	<p>ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しのあり方を再検討して、更なる子どもの読書活動の積極的・計画的な推進に努めます。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園への移動図書館巡回の拡大や、団体貸出利用の推進に努めます。</p> <p>ウ 県立高校図書館・高等専門学校図書館と連携して、ヤングアダルトサービスを展開するとともに、その計画的な推進に努めます。</p> <p>エ 子育てを支援する様々な施設で親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりのため、関係部署との協議を進めます。</p>
-------	--

平成28年度 実績・課題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けに図書を紹介する児童特集展示を行いました。(20テーマ、延べ展示冊数:2,149冊、延べ貸出冊数:3,563冊) ・おはなし会等を実施しました。(延べ82回、873人参加) ・子ども読書の日関連行事として拡大版おはなし会を実施しました。(4月23日開催:46人参加) ・図書館まつりを開催し、おはなし会を実施しました。(10月29日開催:42人参加) ・保育所〔園〕の児童の図書館訪問を受け入れました。(延べ3回) ・第9回なばり本の帯コンクールを共催しました。(応募点数:1,080点) ・教育フォーラム会場及び図書館ロビーで、本の帯コンクール入賞作品を展示しました。 ・ブックスタートを実施しました。(事業の説明、読み聞かせ:318人参加) ・保育所〔園〕への団体貸出(貸出冊数:1,213冊)及び保育所〔園〕への移動図書館の巡回を実施しました。(巡回園数:7施設) <p>(平成29年3月末現在)</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てを支援する施設や子どもの読書活動を推進する主体との協働が必要です。
-----------------	---

平成29年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所〔園〕・幼稚園の児童の図書館訪問を受け入れました。(延べ5回) ・おはなし会等を実施しました。(延べ34回、401人参加) ・子ども読書の日関連行事として拡大版おはなし会を開催しました。(4月22日開催:37人参加) ・図書館まつりを開催し、おはなし会を実施しました。(7月29日開催:44人参加) ・第10回なばり本の帯コンクールを共催しています。 ・ブックスタートを実施しました。(事業の説明、読み聞かせ:176人参加) ・保育所〔園〕への団体貸出(貸出冊数:1,050冊)及び保育所〔園〕への移動図書館の巡回を実施しました。(巡回園数:7施設) ・子ども向けに児童書の特集展示を実施しました。(テーマ数:9テーマ、延べ展示冊数:1,086冊、延べ貸出冊数1,632冊)
----------------	--

平成30年度 重点取組事業 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが興味を持ち参加したくなる催し物等を開催することで、子どもの読書活動を積極的・計画的に推進します。 ・児童サービス担当司書が中心となり、いつでも子どもからの質問や読書相談に対応できるようサービス内容の充実を図ります。 ・保育所〔園〕及び認定こども園・幼稚園等の団体貸出利用を促進します。
-------------------------	---

4 市立図書館による学校図書館支援

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校の司書教諭等や県立高校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援のあり方を検討のうえ、具体的な実施計画を策定します。</p> <p>イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めさせることにより、子どもの読書活動の推進に努めます。</p> <p>ウ 図書館業務受託事業者による小・中学校への学校図書館支援を継続します。</p> <p>エ 県立図書館のサービスを活用した学校図書館支援について検討します。</p> <p>オ MILA Iに参加している県立高校図書館との相互協力を努め、また、MILAIに参加していない高等専門学校図書館との相互協力についても検討し、蔵書の効果的な活用等の連携方法の研究を進めます。</p>
<p>実績・課題 平成28年度</p>	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学(小学校5校)、職場体験(中学校4校)、高校(1校)を受け入れました。 ・小学校への学校図書館支援を実施するにあたっては、年度初めに各学校に事前調査を行い、年間計画を策定しました。 ・小学校の学校図書館を訪問し、ブックトークや読み聞かせ等を行いました。(訪問回数:延べ28回) ・小学校への団体貸出を実施し、1,951冊を貸出しました。 ・県立高等学校への団体貸出を実施し、176冊を貸出しました。 ・市内小学校14校のうち6校に移動図書館の巡回を行いました(平成29年3月末現在) <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの施設見学等の受入、学校図書館訪問、団体貸出の利用促進等を通じての学校図書館支援を推し進める必要があります。
<p>平成29年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの施設見学(小学校4校)、職場体験(中学校4校)を受け入れ、その機会を利用して子どもの読書活動の推進に努めています。 ・学校図書館支援については、学校との連携を密にして年度初めに訪問メニューを決定して実施しています。 ・小中学校の図書館教育担当者会や学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の利用を案内しています。
<p>平成30年度 重点取組(案)事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の司書教諭等や学校司書及び県立高等学校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援を推進します。 ・子どもの施設見学や職場体験を積極的に受け入れます。 ・学校に向向いてのブックトークや読み聞かせ等を行う学校図書館支援を行います。